

新聞梱包材リサイクル

【東京】

東京本社では、1999年から新聞梱包材の結束バンド（PPバンド）と梱包用フィルム（PEフィルム）の回収を開始し、現状、栃木、群馬を除く首都圏エリアで実施しています。

2020年5月現在、東京本社管内の参加ASA数は497店（専売ASA数比：49%）。また、朝日新聞の6印刷工場からも回収をしています。

19年度の新聞梱包材の年間回収量は、PPバンドが約110t、PEフィルムが約152tとなっています。



PEフィルムとPPバンドで梱包された新聞

【大阪】

PPバンドやPEフィルムなどの新聞梱包材は、使用後に回収し、リサイクルに回しています。大阪本社管内工場では、2006年8月から再生PPバンドの使用を開始し、08年には再生PEフィルムの実用化に成功しました。現在は全工場で再生品を使用しています。再生PPバンドは18年8月からASA向けの流通ルートができ、ASAでの使用も広がり始めています。

19年度の回収実績は、PPバンドが31.18t（月間約2.6t）で、PEフィルムが42.95t（月間約3.6t）でした。

【西部】

西部本社は福岡市で7店舗、北九州市で24店舗、計31店舗で新聞梱包材（PPバンドやPEフィルム）のリサイクルを実施しています。異物の混入がほとんどない良質なリサイクル資源の回収が、福岡市は2005年から、北九州市は06年から開始され、定着しています。

【名古屋】

販売部では、ASAに対して新聞梱包用フィルムとバンドの分別回収を依頼し、回収時に不純物が混入しないよう呼びかけています。新聞梱包用フィルムと新聞整理袋についてはポリエチレン製の素材を使用し、焼却しても塩化水素等の有毒ガスを発生させません。

【北海道】

印刷を委託している北海道日刊スポーツ印刷社大曲工場から、工場内及び一部の販売店から回収したPPバンド、PEフィルムをリサイクル業者に引き渡し、適正にリサイクルをしています。また、印刷準備で発生する損紙や、印刷開始と終了時に発生する汚れた紙面もリサイクルしています。